

令和8年度スーパーサイエンスハイスクール事業 理数セミナーのお知らせ

遺伝子ネットワークの進化理論研究からわかる 遺伝の新しい見方

日時 | 令和8年7月11日(土)

午後2時から午後4時まで

会場 | 本校1階多目的ホール (予定)

対象 | 高校生・中学生

講師 | 理化学研究所・基礎科学特別研究員
大窪 健児 先生



©RIKEN

講演概要

生き物の体のはたらきは、1つ1つの遺伝子が独立に決まるのではなく、多くの遺伝子が互いに影響し合う「遺伝子ネットワーク」によって成り立っています。本講演では、このような複雑なネットワークが進化することで、教科書で学ぶメンデルの法則に近い現象がどのように現れるのかを、理論研究の立場から紹介します。複雑な生命のしくみの中から、なぜ単純な遺伝の法則が見えてくるのかを考えることで、遺伝や進化を新しい視点から見直します。

講師紹介

東京大学理学部物理学科を経て、2021年10月に東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻にて博士号を取得。2025年4月より、特定国立研究開発法人理化学研究所数理創造研究センターにて基礎科学特別研究員として勤務。理論生物学・進化生物学を専門とし、数理モデルや計算機シミュレーションを用いて、遺伝子ネットワークの進化、遺伝の法則の成り立ち、発生と進化の関係、適応や多様性が生まれる仕組みなどを研究している。生命現象を、遺伝子や個体だけでなく、それらの相互作用がつくる複雑なシステムとして理解することを目指し、生物学と物理学をつなぐ研究に取り組んでいる。



お問い合わせ：探究・SSH班 TEL 03-3382-0601